

第2回横浜市ホームレス自立支援施設指定管理者選定委員会議事録

1	日時	平成22年8月17日(火) 14:00~17:15
2	開催場所	横浜市役所5階関係機関執務室3
3	出席者	川崎委員、佐々木委員、佐藤委員、新保委員、須田委員(五十音順) (5人) 事務局(3人)
4	欠席者	なし(0人)
5	議題	指定管理候補団体の決定
6	開催形態	非公開
7	決定事項	指定管理者候補団体として社会福祉法人神奈川県匡済会を選定した。

議事

■経過説明

第1回選定委員会後からの経過について事務局より説明を行った。7月27日から7月29日まで公募申込受付を行い、1団体から応募があったことを報告。

■プレゼンテーション、ヒアリング

応募団体より30分間のプレゼンテーションを行った後、質疑応答を実施。

主な質問・意見

- ・法人における決算書を作るプロセスはどうなっているのか。
→まず、施設ごとに決算書を作成した後に本部で取りまとめ、公認会計士のチェックを経たのち、本部の経理担当職員と会計士で仕上げる事となっている。
- ・法人内の監査体制はどうなっているのか。
→法人内に監事が2名おり、各施設を年に1, 2回巡回している。
- ・法人内に赤字の施設はあるのか。
→新規に開設した施設で入所者が少なかった初年度に赤字になったことはあった。
- ・自立支援施設の職員の定着率は。
→退職者は7名。病気退職が多く結婚退職もあった。
- ・ホームレスの方やおそれのある方について採用したとのことだが。
→ホームレスの方やおそれがある方を全部で7名採用している。
- ・研修について、幹部職員についてはどうしているのか。
→今年度から主任・副主任研修を始めた。また、人権研修は全職員が必ず受講するようにしている。
- ・苦情の解決状況を事業年報に載せているとのことだが、利用者は年報をあまり見ないと思う。施設内での掲示はしているのか。
→施設内に改善状況の張り紙をして周知している。
- ・第三者委員の連絡先を施設内に掲示しているのはいいことである。
- ・ホームレスとなるおそれのある方への支援とは具体的に何か。
→派遣切り等でその日の朝に寮を出されたなどというケースが増えている。はまかぜへの入所を通して早期に再就職をしてもらうなど、ホームレスという状況にしない取り組みが必要と考えている。
- ・決算や会計については、個人が間違いをおかさないような仕組みを作ってほしい。
- ・経理に関する事件が起こったことは？
→この10年ほどはなかった。

議事

■審査結果

各委員が審査を行い、事務局が集計。結果は以下のとおり。

総得点 568点（委員会の定める最低基準 390点）

■指定候補者選定

集計結果を受け、横浜市ホームレス自立支援施設はまかぜの次期指定候補管理団体として社会福祉法人神奈川県匡済会を選定した。

■選定結果報告書

横浜市ホームレス自立支援施設はまかぜの選定結果報告書については、審査にあたり各委員から述べられた意見を事務局で取りまとめ、案を作成した上で各委員があらためて確認し、確定することとした。